

| ナンバリング | 科目名 | サブタイトル | 担当教員 | 配当年学期 | 単位数 |
|---------------------------|---|-------------------------|--|-------|-----|
| 212BT13 | 交通英語2A | 交通英語の基礎力の習得 | 福山 圭介 | 2年次前期 | 2 |
| 科目区分 | 専門 | キーワード | Travel, Transportation, Tourism, Basic Expressions | | |
| ディプロマポリシーとの対応 | 2. 交通産業および関連分野での基礎能力(技術・理論)を有し、関連分野で活躍可能な能力 | | | | |
| カリキュラムポリシーとの対応 | 1. 一般教養および専門的(交通・観光関係)な知識と実践力とを総合的に身につける 2. 交通産業および関連分野で活躍するための基礎能力(技術・理論)を身につける | | | | |
| 事前に受講するとよい科目 | 基礎英語、交通英語入門 | | | | |
| オフィスアワー | 授業終了後、次の授業に支障がない範囲で教室内にて対応します。 | | | | |
| 教員への連絡方法 | 教員の短大メールアドレス | | | | |
| 講義の目的 | 将来、鉄道をはじめとした交通の現場で活躍するための英語の基礎力をつけることを目的とします。具体的には、駅窓口係・鉄道および航空機の乗務員・鉄道技術者などとして働くうえで必要になる英語のリスニング・スピーキングの基礎力を養います。 | | | | |
| 到達目標 | (1)入門レベルについて一層のレベルアップとその定着、(2)交通機関で用いることが想定される表現を学び、使いこなせるようになること(観光英語検定2級程度)。 | | | | |
| 講義内容 | 1年次の交通英語入門に続き、音声の聞き取りを中心とした英語学習を行います。音声教材は交通英語入門で使用したものと同様、観光や交通機関に関連するものを主に使用します。内容は1年生の時より難しくなりますが、皆さんに馴染みの深い題材をできるだけ取り上げたいと思いますので、毎回の復習を忘れず取り組んで下さい。 | | | | |
| 講義スケジュール | | タイトル | 内容 | | |
| | 第1講 | オリエンテーション | 授業方針の説明と簡単な聞き取り問題 | | |
| | 第2講 | Travel | 旅行一般に関する表現 | | |
| | 第3講 | Jobs and people | 業務や職種に関する表現 | | |
| | 第4講 | Getting on the Plane | 飛行機への搭乗に関連する表現 | | |
| | 第5講 | At the Immigration | 出入国管理や税関で使われる表現 | | |
| | 第6講 | At the Airport | 空港内での英語 | | |
| | 第7講 | Hotel (Accommodations) | ホテルや宿泊施設で使われる表現 | | |
| | 第8講 | Restaurant | 食事に関する表現 | | |
| | 第9講 | Sightseeing | 観光に関する表現 | | |
| | 第10講 | Shopping | 買い物をする際の表現 | | |
| | 第11講 | Transportation | 交通機関を利用する際の表現 | | |
| | 第12講 | Problems and Complaints | 問題と苦情に関する表現 | | |
| | 第13講 | Traveling in Japan(1) | 旅館・温泉などに関する英語 | | |
| | 第14講 | Traveling in Japan(2) | 国内の観光・食事・お土産等に関する英語 | | |
| 第15講 | まとめと演習 | これまでの復習演習 | | | |
| 指導方法 | 上記の講義スケジュールに沿ってテキストを進めていきます。講義はパワーポイントスライドによる座学に加え、実践的なスキット演習も取り入れます。 | | | | |
| 事前学習 | 授業前の事前学習として、授業内で指示された資料に目を通し、web検索などで概要を調べておくこと。1時間30分程度の学習時間が目安である。 | | | | |
| 事後学習 | 授業後の事後学習として、授業内容をしっかり復習し、期限内にGoogle Classroomに課題を提出すること。1時間30分程度の学習時間が目安である。 | | | | |
| 成績評価方法 | 本試験50%+平常点(課題点)50% | | | | |
| 課題(試験・レポート)に対するフィードバックの方法 | 授業内で課題の講評を行う。必要に応じてGoogle Classroomでフィードバックを行う。 | | | | |
| テキスト | 観光英検センター編『ベーシック観光英語』,三修社,2014年。 | | | | |
| 参考文献 | 授業内で適宜指示します。 | | | | |
| 実務家教員による授業 | | 教員 経歴 | | | |
| 特記事項 | テストによるクラス分けを行います。指定されたクラスを受講して下さい。 | | | | |